

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 実施日 2018年4月17日(火)

2 対象 小学校6年生、中学校3年生

3 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

4 調査内容

- 教科に関する調査「国語、算数・数学、理科(3年に一度、前回は平成27年度に実施)」
  - ◆A:主として「知識」に関する問題、B:主として「活用」に関する問題
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ◆児童・生徒に対する調査
    - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
  - ◆学校に対する調査
    - ・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 学力調査結果

【小学校】割合 ※全国を100としたときの割合

		国 語		算 数		理 科
		A:主として知識	B:主として活用	A:主として知識	B:主として活用	
正答率	町田市	71	55	65	52	60
	東京都	74	57	67	55	62
	全 国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
割合	町田市	100.4	100.5	102.4	101.0	99.5
	東京都	104.7	104.2	105.5	106.8	102.8

国語AB、算数AB、は全国の前年正答率と比べると、0.3から1.5ポイント程度上回っている。しかし、東京都の前年正答率と比較すると2から3ポイント下回っている。また、理科については、全国の前年正答率より0.3ポイント、東京都の前年正答率より、2ポイント下回っている。

【中学校】割合 ※全国を100としたときの割合

		国 語		数 学		理 科
		A:主として知識	B:主として活用	A:主として知識	B:主として活用	
正答率	町田市	77	63	67	48	65
	東京都	77	63	67	49	65
	全 国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1
割合	町田市	101.2	102.9	101.4	102.3	98.3
	東京都	101.2	102.9	101.4	104.5	98.3

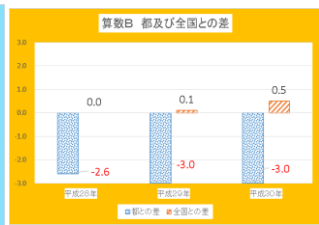
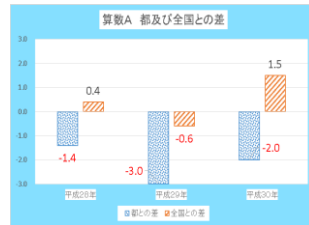
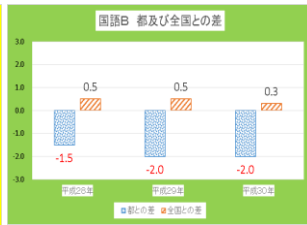
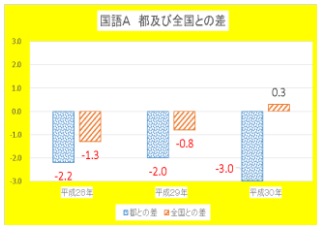
国語AB、数学Aにおいては、全国の前年正答率を上回り、東京都の前年正答率と同じである。数学Bについては、全国の前年正答率を上回っているが東京都の前年正答率より1ポイント下回っている。理科については、全国の前年正答率より1.1ポイント下回っているが東京都の前年正答率と同じである。

## 6 国語、算数・数学における3年間の経年変化

### ① 町田市立小学校の平均正答率と都及び全国との差

小学校

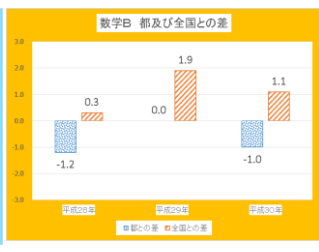
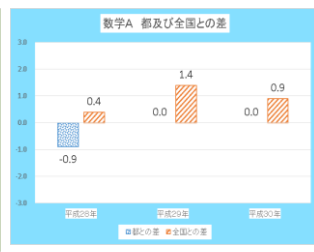
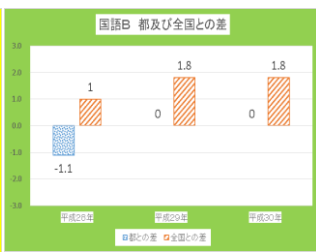
平均正答率							平均正答率						
		国語A			国語B			算数A			算数B		
	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国	
平成28年	71.6	73.8	72.9	58.3	59.8	57.8	78.0	79.4	77.6	47.2	49.8	47.2	
平成29年	74	76	74.8	58	60	57.5	78	81	78.6	46	49	45.9	
平成30年	71	74	70.7	55	57	54.7	65	67	63.5	52	55	51.5	



### ② 町田市立中学校の平均正答率と都及び全国との差

中学校

平均正答率							平均正答率						
		国語A			国語B			数学A			数学B		
	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国	町田市	東京都	全国	
平成28年	76.3	76.9	75.6	67.5	68.6	66.5	62.6	63.5	62.2	44.4	45.6	44.1	
平成29年	80	79	77.4	74	74	72.2	66	66	64.6	50	50	48.1	
平成30年	77	77	76.1	63	63	61.2	67	67	66.1	48	49	46.9	



#### 【考察】

今年度は、直近3年間で初めて国語、算数・数学のAB領域すべてにおいて、全国平均を上回った。このことから、これまでの学力向上に関する取組について一定の成果があったと考える。しかし、小学校においては、東京都の平均正答率に対して、3年間続けて下回っており、知識・技能及び活用の両面から指導を充実していく必要があると考える。

中学校においては、東京都の平均正答率とほぼ同等のことから、これまでの学力向上に関する取組について一定の成果があったと考える。小学校で身に付けるべき知識・技能が高まることで、中学校の指導内容も改善が図られ、これまで以上の成果を上げていくことが可能であると考えられる。

7 最上位校と最下位校の差(※平均正答率の差)

2016(小)	国語A	国語B	算数A	算数B
最上位校	82.7	73.6	88.9	57.1
町田市	71.6	58.3	78.0	47.2
最下位校	52.8	38.9	66.0	29.9
最上位校-最下位校	29.9	34.7	22.9	27.2

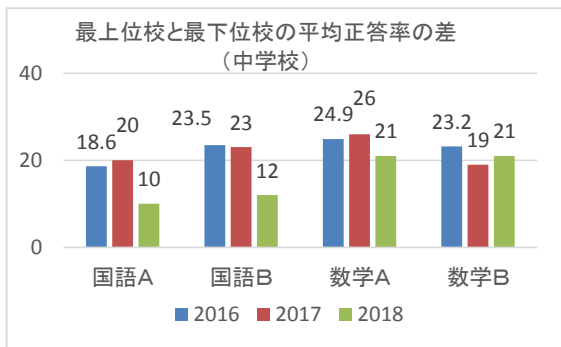
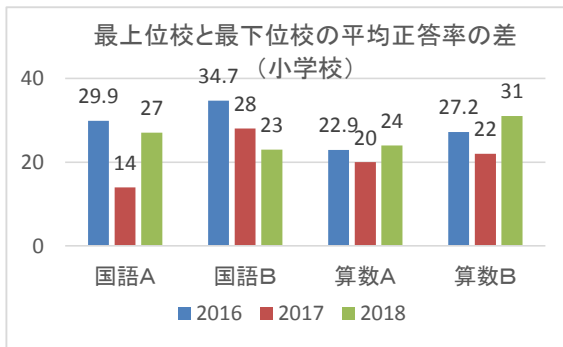
2016(中)	国語A	国語B	数学A	数学B
最上位校	83.5	76.8	71.3	53.3
町田市	76.3	67.5	62.6	44.4
最下位校	64.9	53.3	46.4	30.1
最上位校-最下位校	18.6	23.5	24.9	23.2

2017(小)	国語A	国語B	算数A	算数B
最上位校	81	72	86	58
町田市	74	58	78	46
最下位校	67	44	66	36
最上位校-最下位校	14	28	20	22

2017(中)	国語A	国語B	数学A	数学B
最上位校	86	82	74	57
町田市	80	74	66	50
最下位校	66	59	48	38
最上位校-最下位校	20	23	26	19

2018(小)	国語A	国語B	算数A	算数B
最上位校	83	66	77	66
町田市	71	55	65	52
最下位校	56	43	53	35
最上位校-最下位校	27	23	24	31

2018(中)	国語A	国語B	数学A	数学B
最上位校	82	69	76	59
町田市	77	63	67	48
最下位校	72	57	55	38
最上位校-最下位校	10	12	21	21



町田市の平均を100としたときの最上位校と最下位校の差

2016(小)	国語A	国語B	算数A	算数B
最上位校	116	126	114	121
差	16	26	14	21
町田市	100	100	100	100
差	26	33	15	37
最下位校	74	67	85	63

2016(中)	国語A	国語B	数学A	数学B
最上位校	109	114	114	120
差	9	14	14	20
町田市	100	100	100	100
差	15	21	26	32
最下位校	85	79	74	68

2017(小)	国語A	国語B	算数A	算数B
最上位校	109	124	110	126
差	9	24	10	26
町田市	100	100	100	100
差	9	24	15	22
最下位校	91	76	85	78

2017(中)	国語A	国語B	数学A	数学B
最上位校	108	111	112	114
差	8	11	12	14
町田市	100	100	100	100
差	17	20	27	24
最下位校	83	80	73	76

2018(小)	国語A	国語B	算数A	算数B
最上位校	117	120	118	127
差	17	20	18	27
町田市	100	100	100	100
差	21	22	18	33
最下位校	79	78	82	67

2018(中)	国語A	国語B	数学A	数学B
最上位校	106	110	113	123
差	6	10	13	23
町田市	100	100	100	100
差	6	10	18	21
最下位校	94	90	82	79

【小学校】

国語A、算数ABにおいては、最上位校と最下位校の差は、昨年度と比べ、広がっている。国語Bの最下位校の値は、直近3年間で、町田市の平均と比べ11ポイント縮まっている。

【中学校】

国語AB、数学Aにおいては、最上位校と最下位校の差は、3年間で縮まっている。特に、国語Bの最下位校の値は、町田市の平均と比べ、昨年度より10ポイント縮まっている。

【考察】

小学校の国語Bにおいては、町田市の平均を100と見た場合、最上位校は、年々町田市の平均に近づくように下降している。一方で、最下位校は、年々町田市の平均に近づくように上昇していることが分かる。同様の見方をすると、中学校の国語ABにおいては、最上位校と町田市の平均は縮まってきている。一方で、最下位校の差は、町田市の平均に近付いてきていることから、学力の底上げが図られていると捉えることができる。

8 児童・生徒に対する質問紙調査において、全国または東京都と比べて5ポイント以上差のあった項目  
※( )内の数値は町田市の数値と比較した値を示しています。

【小学校】

	「当てはまる」「まあ当てはまる」	町田市	東京都	全国
A	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	56.8	55.8 (+1)	62.6 (-5.8)
B	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	59.8	58.2 (+1.6)	69.9 (-10.1)
C	今住んでいる地域の行事に参加していますか	54.3	51.1 (+3.2)	62.7 (-8.4)

○Aについて町田市は、東京都に比べ1ポイント上回っているが、全国に比べ5.8ポイント下回っている。  
○Bについて町田市は、東京都に比べ1.6ポイント上回っているが、全国に比べ10.1ポイント下回っている。  
○Cについて町田市は、東京都に比べ3.2ポイント上回っているが、全国に比べ8.4ポイント下回っている。

【中学校】

	「当てはまる」「まあ当てはまる」	町田市	東京都	全国
A	1, 2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	62.6	68.3 (-5.7)	68.7 (-6.1)
B	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	68.1	72.4 (-4.3)	73.8 (-5.7)
C	今住んでいる地域の行事に参加していますか	37.7	38.3 (-0.6)	45.6 (-7.9)

○Aについて町田市は、東京都に比べ5.7ポイント下回っており、全国に比べ6.1ポイント下回っている。  
○Bについて町田市は、東京都に比べ4.3ポイント下回っており、全国に比べ5.7ポイント下回っている。  
○Cについて町田市は、東京都に比べ0.6ポイント下回っており、全国に比べ7.9ポイント下回っている。

【考察】

地域行事への参加に関連した項目は、2017年度においても、小学校・中学校ともに、全国と比べて5ポイント以上の差が見られた項目である。しかし、昨年度と比較すると、小学校が52.9%→54.3%、中学校が33.0%→37.7%と、肯定的な回答の割合は増えている。地域の人たちとの関わりが増えることで、新たな知識を獲得したり、関心を高めたりすることに繋がり、そのことが学力にも影響していると考えられる。

また、小学校においては、予習・復習や自学自習の項目において、全国と比べて5ポイント以上の差が見られた。予習・復習や自学自習との開きがあることから、家庭学習の取組についての方策を検討する必要がある。

中学校においては、課外活動における地域連携に関連した項目、課題の解決に向けた主体的な取組に関連した項目において、全国、東京都と比べて5ポイント以上の差が見られた。地域と連携した学習の機会の設定、生徒の主体的に取り組む態度について課題があると捉えることができる。

9 今後の方針

- (1) 平均正答率の上位層及び下位層の学校からのヒヤリング、分析。平均正答率の低い学校への支援方策の検討
- (2) 授業力の向上、学力向上等を目指す研究指定校の在り方の検討
- (3) 学力向上推進プランの評価と新プランの策定
- (4) 教員研修の内容の見直し
- (5) 放課後学習教室及び地域未来塾の充実
- (6) 優れた研究を先進的に行っている自治体等への管理職の視察